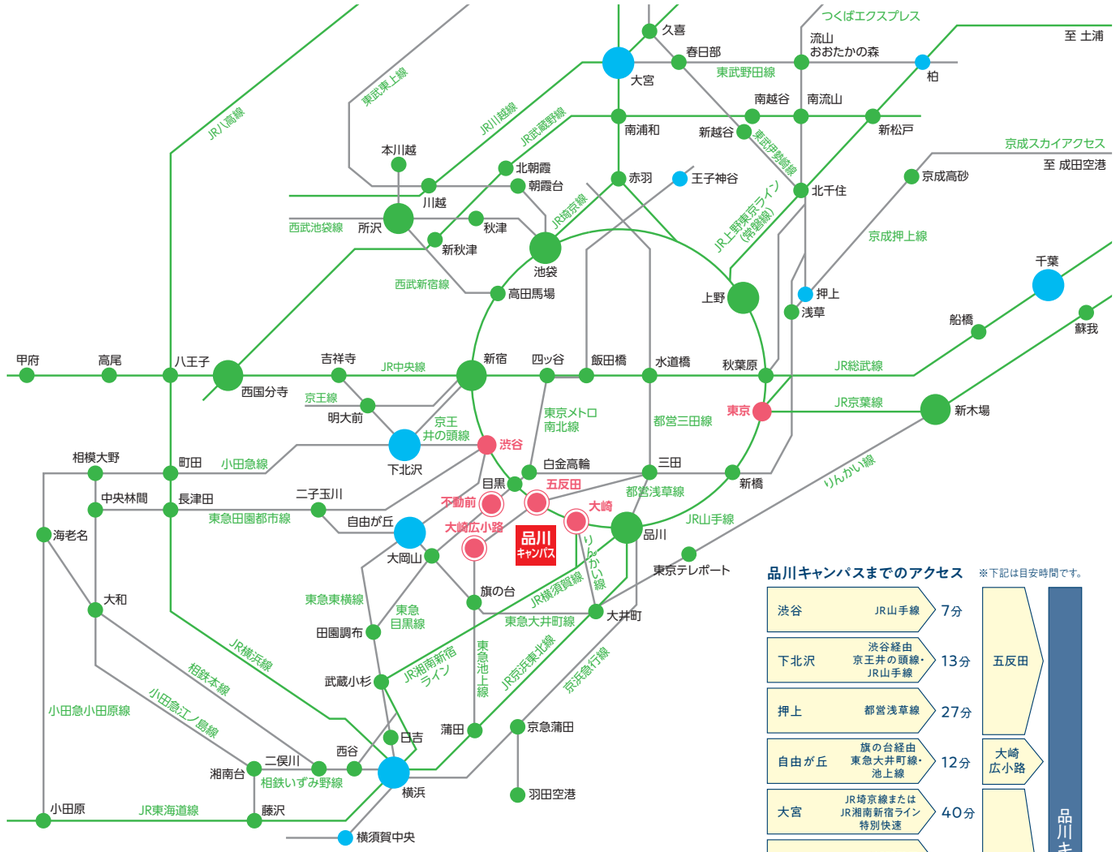
Access Map
[アクセスマップ]

副都心・大崎と庶民的な五反田、異なる顔を持つ街に育まれ、交通の便利さ、
充実した施設、環境の良さ、どれも兼ね備えているのが品川キャンパスの魅力です。



品川キャンパスまでのアクセス

※下記は目安時間です。

渋谷	JR山手線	7分	五反田	品川キャンパス
下北沢	渋谷経由 京王井の頭線・JR山手線	13分		
押上	都営浅草線	27分		
自由が丘	旗の台経由 東急大井町線・池上線	12分	大崎広小路	
大宮	JR埼京線または JR湘南新宿ライン 特別快速	40分	大崎	
横浜	JR湘南新宿ライン快速	17分		
千葉	品川経由 JR総武線快速・JR山手線	50分		
横須賀中央	品川経由 京浜急行線・JR山手線	46分		
柏	上野経由 JR上野東京ライン（常磐線）・JR山手線	54分		
日吉	東急目黒線	21分	不動前	
王子神谷	東京メトロ南北線・東急目黒線	35分		

コラボ
実はやさしい「法学」のハナシ
https://www.univpress.co.jp/university/rissho_law/

立正大学
「モラリスト×エキスパート」を育む。

150th RISSHO
2022年 開校150周年

お問い合わせ先
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16
［立正大学入試センター］
TEL.03-3492-6649　FAX.03-5487-3347　E-mail exa@ris.ac.jp
［法学部事務室］TEL.03-3492-3183
［立正大学ホームページ］https://www.ris.ac.jp/

法学部ホームページ
https://law.ris.ac.jp/

立正大学
「モラリスト×エキスパート」を育む。

150th RISSHO
2022年 開校150周年

法学部 2023

未来をつくる
新たな学びのステージ

品川キャンパスで学ぶ 立正大学法学部の4年間

立正大学法学部がある品川キャンパスは、副都心として発展する大崎と、活気ある商業地区の五反田の両駅から徒歩5分という便利な立地。都市型キャンパスでありながら、構内の緑化にも力を入れており、落ち着いた学修環境が整っています。

2023年4月から、法学部ではこれからの社会に対応する新しいコース制・科目を展開します。インターンシップや校外実習など、これまで本学部が培った学生主体のアクティブラーニングの実績に加え、少人数・双方向の教育をより重視し、「生きた法学」を通じて自ら考え、社会で生き抜く力を養います。

「モラリスト×エキスパート」を育む。

法学部法学科は、その学士課程教育プログラム（正課外のものも含む）を通じ、持続可能でより良い豊かな和平社会を築くための一個の重心・芯となるべき人材として、法学分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とします。

立正大学法学部の

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部法学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- 法律、政治、社会問題に広い関心を持ち、基礎的学力を有している者。
- 「考える力」および「生き抜く力」を養い、将来実社会で活かしたいという意欲をもっている者。
- 学習のみならず物事に意欲的、かつ継続的に取り組む姿勢を身につけている者。

学力の三要素に即した求める人物像

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

- 「考える力」および「生き抜く力」を養い、将来実社会で活かしたいという意欲をもっている者。
- 学習のみならず物事に意欲的、かつ継続的に取り組む姿勢を身につけている者。
- 世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働できる者。

《思考力・判断力・表現力》

- 法律、政治、社会問題に対する関心をもっている者。
- 得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現できる者。

《知識・技能》

- 地歴・公民の基礎的知識、および国語・英文等の読解力を身につけている者。

高等学校等で修得すべき具体的内容

国　語	現代文などの読解力
公　民	政治経済などの基本的知識
地理歴史	時代背景や社会環境などの基本的知識
外国語	外国語の基礎的読解力 英語のリーディング・リスニング・ライティング・スピーキングについての基本的能力

※以上は、法学部で教育を受けるにあたってあらかじめ身につけておいてほしい主な知識・能力等を列挙したもので、出願資格・条件とは関係ありません。

2022年3月に変更予定です。最新のアドミッション・ポリシーは立正大学ホームページをご覧ください。

2023年4月から始まる、法学部の新たなカリキュラム

「これからの社会で、求められる人になる」

立正大学法学部では、2023年4月から新たなカリキュラムがスタートします。少人数制や地域との連携などの特色はそのままに、コース制や科目をこれからの社会を見据えた内容へと刷新。新カリキュラムの目的と、育成を目指す学生像を、法学部長の早川先生が語ります。

Profile

法学部長　早川（はやかわ） 誠（まこと）

1968年生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。2000年より立正大学法学部で教鞭をとり、2022年4月より現職。品川区総合戦略推進委員会委員長なども務める。

高校生の皆さんが抱く、法学部の学びとはどんなイメージでしょうか。法廷ドラマなどに描かれているような「有罪か無罪か」、「正義か悪か」を判断する学び。あるいは、六法全書に書かれた条文をひたすら暗記する学び。そんな厳格で難解な印象があるかもしれません。

けれど、私たちが考える法学部の学びの本質は、もっと柔軟な「話し合い」にあります。社会の中で法律が必要になるのは、異なる主張がぶつかり合う時です。Aという主張をする人もBという主張をする人も、それぞれに理由があります。そうした理由も含めて両者の主張を聞き取り、法律という一定のルールに則って公平に調整し、両者を説得することが、多くの法律家の仕事です。

もちろん、法律家としての「話し合い」を成立させるためには、大前提として法律の専門知識が必要です。加えて、多様な立場の人たちの主張を理解するためには、人権意識や国際感覚なども欠かせません。また、今の社会が抱える問題への感度も必要です。

立正大学法学部では、そうした幅広い知識とスキルを持つ学生の育成を進めています。

人と人、人と社会を繋ぐ立正大学法学部の特色

本学の法学部にはいくつかの学びの特色があります。

まずは少人数制教育の徹底です。2年生から4年生までが履修するゼミナール（ゼミ）を中心に、1年次の基礎ゼミナールをふくむ各種演習や課外ゼミは、学生同士が活発に討論したり、共同で調査に取り組んだりできるように、少人数で構成されています。「話し合い」のためのスキルを伸ばす上でも、理想的な環境です。

また、教員と学生の距離が近く、厚い信頼関係を築いています。学生が教員に自由に相談できるオフィスアワーという時間を毎週設けていますが、多くの教員はそれ以外の時間でも、個別に学生の相談に乗っています。

次に、フィールドワークや実務演習など、実践的な学びの機会が多くあることです。

3年次の「フィールドワーク」の授業では、東京の地の利を活かし、現職の国会議員の秘書業務や自治体、企業に出向いて実際の仕事を体験します。また、埼玉県社会保険労務士会熊谷支部や東京都行政書士会の協力のもと、第一線で活躍する方々が講師を担当する「実務演習」を実施しています。法律の知識が現場でどのように活用されているかを具体的に知ることができます。

社会で実践的な活動をするゼミもあります。例えば、品川区明るい選挙推進協議会と品川区選挙管理委員会事務局と協働した小学校での「模擬選挙を通した主権者教育」は、社会貢献としての側面も備えています。

社会の変化を見据えた3コース制の新カリキュラム

こうした本学法学部の優れた特色を生かしつつ、2023年4月から新たなカリキュラムがスタートします。主な変更点は、コース制の再編と新科目の設置です。新カリキュラムの狙いは、「これからの社会で必要な法律知識や人権意識、リーガルマインドを身につけること」です。

コース制では、従来から学生が希望する進路に合わせた体系的な学修を取り入れていました。これをさらに一歩進め、就職後に必要となる知識やスキルの育成に力を入れます。例えば、公務員などを目指す学生向けの「社会公共コース」では、公務員試験に必要な科目だけでなく、人権意識や国際感覚を養うための科目を組み入れました。国や地方自治体での実務において欠かせないスキルを修得することで、就職後の活躍を後押しします。

同様に、民間企業への就職や自ら事業運営を目指す学生向けの「ビジネス法コース」では、経営や労働環境に関わる法律はもちろん、その法律を社会において活用する思考力（リーガルマインド）の修得に力を入れます。

一方、「特修コース」は、難関国家資格や国家公務員試験、大学院進学等を目指す学生に適した、少人数講義が特色です。教員と学生との双方向で実施される展開演習や判例研究により、ハイレベルな課題にチャレンジします。

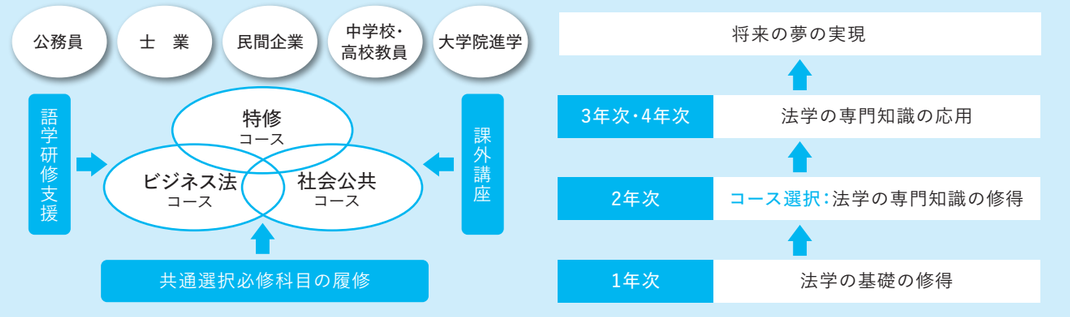
新科目設置においては、今の学生が「知りたい」、「学びたい」と考える内容を厳選しました。例えば、LGBTQへの関心を受けた「ジェンダー法」、社会活動の多様化に対応した「NPO法」、ビジネス方面での需要が高い「労使関係法」、矯正関係では「犯罪学」、「少年法」（科目名はすべて仮称）などを開講予定です。

自分のためだけでなく社会のための学びを

法学部での学びに興味を持つ高校生の皆さんには、ぜひ今、社会で起きている問題に関心を持ってほしいと思っています。新聞やテレビのニュースの中だけでなく、身の回りでもさまざまな問題が起きています。例えば、いじめについて、LGBTQやジェンダーについて、家庭環境による経済格差について、アルバイト先の労働環境についてなど、目をこらせば多くの社会問題を発見できます。問題を見つけたら、なぜそうした問題が起きるのか、その理由を考えてください。友だちなど周りの人と話し合ってもよいでしょう。多くの問題は、簡単に解決できるものではありません。それでも、解決に役立つ知識や経験を身につける環境を、私たちは用意しています。

高校生の皆さんは、世界を変える力を持っています。「社会をよくしたい」という志を持つ皆さんと、共に学び合えることを期待しています。

新たな3コース制と、社会での実現イメージ



Message
先輩からのメッセージ

大学で得た法学の知識を活かし、夢の実現へと歩み出した
先輩たちの声をお届けします。

ゼミでの学びを、労働者を守る仕事に生かしたい

労働基準監督官

中学生のころ、働く人を守る仕事に興味を持ちました。調べていく中で労働基準監督官という仕事を知り、目標とするようになりました。大学の進路として立正大学法学部を選んだのは、公務員試験に適したカリキュラムがあったことと、2年次からゼミで専門的に学べることが理由です。

私が所属した労働法のゼミでは、毎回1つ判例を取り上げ、学生が原告側と被告側に分かれて議論をする形式で行われました。例えばウーバーイーツの雇用形態など、社会問題になっている多くの事例に取り組めたことや、企業と労働者両方の視点で法律解釈を深められたことは、とてもよい経験になりました。また、現役の労働基準監督官をゼミに招くこともあり、仕事についての理解を深めることができました。

私は試験勉強のスケジュールの都合もあり、採用試験対策は学内講座ではなく予備校に通いました。主にオンラインの大学の授業と、対面式の予備校の授業の両立は大変でしたが、ゼミの先生にもフォローいただき、乗り越えることができました。念願の仕事に就けることを嬉しく思う反面、労働者を守るという重責も感じています。

私たちの学年は、コロナ禍により3年次からほぼオンライン授業になるなど、入学時には想像もしていなかった大学生活になりました。けれど、どんな状況でもできることは必ずあります。高校生の皆さんには、ぜひ自分が今、できることを考え、全力で取り組んでほしいと思います。

私のお気に入りはコレ!

2年次に、ゼミ合宿で鬼怒川温泉に行きました。日光東照宮にお参りしたことが良い思い出です

大学祭の高校生相談ブースでの写真です。大学祭の実行委員会で、高校生の対応のほか財務の仕事などを担当しました

神奈川労働局

法学部 4年
石井 日菜 さん
(埼玉県立草加南高等学校出身)

目的意識を持って、貴重な4年間を過ごそう

検察事務官

子どものころから警察官などの公安職への憧れを持っていたこと、また、姉と兄が公務員になったことから、私も高校の進路選択の段階で公務員を志すようになりました。検察事務官という仕事を選んだのは、大学入学後です。1年次のキャリア講座で検察事務官として働く卒業生の話を聞く機会があり、裁判を支えるやりがいのある仕事だと感じました。

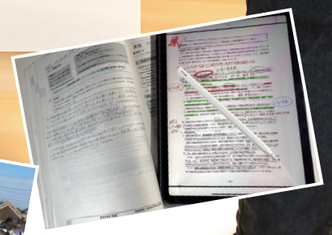
私は大学に入ったら、とにかく勉強を頑張ろうと決めていました。そのためまず2年次で行政書士課外講座を受講し、その年の試験で合格することができました。また、公務員試験対策課外講座も2年次から受講を開始し、検察事務官の採用条件である国家公務員一般職の試験に備えました。

立正大学のよいところは、学生がやりたいことに挑戦できる環境が整っていることです。特に公務員試験や資格取得を目指す学生には、課外講座など非常に手厚いサポートがあります。先生がたも熱心で、学ぶ意欲があればいくらでも応えてくれます。

また、ボランティア活動も盛んです。私はボランティアセンターの運営に学生有志として参加し、東日本大震災の被災地支援ボランティアのため福島県を訪れました。復興イベントの開催を通して、被災者の方と交流できたことは貴重な経験です。

大学は自分で選んで、学びたいことを学び、社会活動にも参加できる場所です。貴重な4年間を、どうか悔いのないように過ごしてください。

私のお気に入りはコレ!



公務員講座で使っていたテキストです。端末に取り込み、通学中などどこでも勉強ができるように工夫しました

2年次に参加した復興イベントの様子。防災教育を兼ね、子どもたちとバケツリレーを行いました

東京地方検察庁

法学部 4年
川上 翔也 さん
(埼玉県立坂戸西高等学校出身)

法律の知識を活かし、頼られる人になりたい

公務員

高校時代は現代文が得意で、読解力を生かせると考えて法学部を選びました。法学は難しいものだと構えていたのですが、1年次の「基礎ゼミナール」で一から法学の知識を学べたため、少しずつ興味がわくようになりました。特に労働法は、自分のアルバイト先に関連する法律がたくさんあり、身近に感じました。ゼミも労働法を中心に扱うところを希望し、過労死問題などをテーマにして、過去の裁判の判例について自分なりに解釈を掘り下げることで学びを深めることができました。

入学当時は明確な将来の目標がなかったのですが、法律を学ぶうち、公務員としてこの知識を役立てたいと考えるようになり、3年次から公務員試験対策課外講座で勉強を開始しました。コロナ禍の中、講座の授業は全てオンラインだったため、自分でペースを保って配信動画で勉強するのは苦労しました。私の場合は、無理をせず、集中力が切れたら休憩をとりながら取り組みました。また、より大きな規模で仕事ができる職場を目指そうと、東京都庁や千葉県庁を目標に掲げてモチベーションを保ちました。就職の決まった千葉県庁では、国と市町村の調整役として柔軟に機能できるよう、また、労働問題にも取り組めるように努力したいです。

大学時代は、アルバイトを通してさまざまな立場の人と出会え、よい経験になりました。高校生の皆さんにも、大学ではバイトでも、サークルでもよいので、何かに打ち込む経験をしてほしいです。

千葉県庁

法学部 4年
松浦 歩 さん
（千葉県立船橋啓明高等学校出身）

私のお気に入りはコレ!

▲2年次のゼミ合宿では、栃木県の鬼怒川に行きました。写真は現地に着いて早々、勉強会をしていたときの様子です

◀1年次、友人たちと浅草に出かけました。品川は交通の便がよく、学校帰りに友人たちといろいろな場所に遊びに行きました

公務員

品川区役所

法学部 4年
鈴木 俊平 さん
（千葉県立船橋芝山高等学校出身）

人権問題に取り組んでいきたい

高校の政治・経済の授業で憲法に興味を持ち、もっと学びたいと思い法学部に進みました。立正大学を選んだのはオープンキャンパスで大学の雰囲気に惹かれたからです。法学部の授業では、憲法や法律、条例の幅広さ、解釈の奥深さなどに触れ、掘り下げて考える楽しさも学びました。

就職ガイダンスで聞いた、品川区役所に勤務している先輩の話が進路選択の契機になりました。区役所では幅広く法学の知識を活かして一般市民のために働けると知り、子どもや女性など、弱い立場の方の人権を守るために働こうと決めました。そこからは公務員試験に向けて全力で取り組みました。コロナ禍で友人たちと気軽に会える環境ではなく、勉強のペースを保つことが辛い時期もありましたが、夢があったおかげで乗り越えることができました。

私のお気に入りはコレ!

▲音楽が好きで、多い年は20回ほどライブに足を運びます。写真は2年次に、好きなバンドのライブに行った時の様子です

▲1年次の夏休み、仲の良い友人たちと埼玉県の長瀞にラフティングに行きました。思った以上に体力が必要で、楽しめました

労働基準監督官

東京労働局
労働基準監督官

法学部 4年
中武 隼太郎 さん
（千葉県立若松高等学校出身）

2000時間の勉強をして労働基準監督官に合格

起業に興味があり、経営に関する法律の知識を得ようと法学部に入りました。ところが、2年次の授業で現役の労働基準監督官のお話を伺い、多様な環境で働く人々と関わることができると知り、興味を惹かれました。そこで3年次から公務員試験対策課外講座を受講し、労働基準監督官か公務員になると覚悟を決めて試験対策を開始。数的処理など苦手な分野もありましたが、毎日の勉強時間をメモして励みにしていました。ゼミの先生には、何度も論文の添削をしていただきました。

立正大学には相互履修制度があり、他学部の授業も受講できます。私は心理学を受講していたので、その知識が公務員試験にも役立ちました。好きで学んでいたことがどう役にたつかわからないので、皆さんも、1つでも好きなものを見つけておくと良いと思います。

私のお気に入りはコレ!

▲バドミントンサークルでの活動の様子です。2年次からは幹部になり、他大学の幹部と連絡を取り合って大会を運営する仕事も担当しました

警察事務

万全のサポート体制のもとで挑んだ警察事務の試験

子どものころから警察に関係する仕事をしたいと考えていて、法学部を受験しました。第一志望の大学には入れず、あまり調べる時間もないまま立正大学に入学しましたが、入ってみると、公務員試験対策課外講座が充実しているうえに手厚い就職サポートもあり、立正大学に入って本当に良かったと思っています。授業を通して環境問題や身近な生活に関する分野にも法が整備されていることを知り、法学の魅力に気付きました。また、自分ならどう法律を解釈するかと、自分で考える力が身につきました。

コロナ禍でインターンシップも経験できず、不安な中での就職活動でしたが、先生に面接練習をしていただいたり、苦手な論文対策に力を入れたりした結果、無事に採用が決まりました。人をよりよくサポートできる社会人になりたいです。

私のお気に入りはコレ!

2年次のゼミ合宿で群馬県渋川市の伊香保に行った際の様子です

大学では合気道部に在籍して、主将も務めました。コロナ禍であまり活動ができなかったのが残念です

警視庁
警察行政職員

法学部 4年
内山 文花 さん
(千葉県立幕張総合高等学校出身)

民間企業

地域に貢献できる職種を探して地方銀行に就職

純粋に「かっこいいな」と憧れがあったので法学部を選びました。立正大学は優しい先生が多く、安心できる環境でした。最初は法律の授業が難しいと感じましたが、民法で財産権を学んだ時に、スマホで読むマンガにも法律が関係しているのだ、と法律を身近に感じ、そこから面白くなりました。

就職活動については、合同説明会に足を運ぶうち、仕事で地域貢献がしたいと思うようになり、業種を絞りました。地方銀行を希望したのは、大手銀行よりも地元企業と親密な関係を築けると考えたからです。また、就職活動を楽しむように意識しました。特に面接は企業の重役の方とお話しできる貴重な機会です。定型文ではなく、雰囲気に合わせ、臨機応変に回答するよう心がけました。将来は周りの方の相談に乗れるような社会人になりたいです。

私のお気に入りはコレ!

卒業前に、大学の仲の良い友人たちと大阪などに卒業旅行に行くことができました

地元では、高校時代の友人たちと週に1度、フットサルを楽しんでいます。息抜きにもなり、ほっとできる場です

株式会社
千葉興業銀行

法学部 4年
保坂 駿太 さん
(千葉県立磯辺高等学校出身)

警察官

大学生活の間に、自分のやりたいことを見つけてほしい

小学校の通学路を見守る警察官の姿に憧れ、警察官になろうと決めました。立正大学を選んだのは、課外講座がとても充実していたからです。公務員試験対策課外講座の教材はとてもわかりやすく、自分のペースでどんどん学ぶことができました。3年次からコロナ対策のため講座の授業が動画配信になったことも、自分の勉強スタイルに合っていて、不安なく試験対策ができました。警察官は体力や高い倫理観も求められるので、勉強のほか、腕立て伏せやランニングで体力をつけたり、言動には気をつけていました。

授業では、警察の仕事と関連が強い刑法が印象に残っています。将来の夢や目標があると、大学生活でも自分の興味につながる学問を楽しむことができます。やりたいことを早めに見つけて、未来への準備を始めて欲しいです。

私のお気に入りはコレ!

2年次のゼミ合宿で伊豆に行った際の様子です。全国の「高札」についての情報を調べ、それをまとめて発表しました

就職活動中はゼミの先生がLINEでこまめに相談に乗ってくださいました。大学に通う機会が少なかったので、とても心強かったです

警視庁
警察官

法学部 4年
深倉 未沙希 さん
(千葉県立君津高等学校出身)

2年次で宅地建物取引士に合格!

2年次のうちに1つは資格を取りたいと思い、2年次の最初に課外講座の説明会に参加しました。宅建は将来の役に立つことはもちろん、1年次で学んだ知識も試験で生かせるとわかり、受講を決めました。5月から8月までは授業動画と教材を使って自分のペースで勉強を進めました。わからない点はメールで問い合わせしたほか、自分で解説動画を探すなどして解決できたので、あまり不安は感じませんでした。でも、夏休みはつい怠けてしまうので、朝8時には起きて、午前中は試験勉強をするように習慣づけました。

実際に資格がとれると、就職についてより真剣に考えるようになり、それまで気にしていなかった業種も検討するなど、視野が広がりました。この経験を生かして、次はファイナンシャルプランナーの資格にも挑戦したいです。

私のお気に入りはコレ!

20歳の誕生日に、友人たちがケーキでお祝いしてくれました。これからは大人として責任ある行動をとらないといけない、と身が引き締まりました

成人式の様子です。人と被らない、個性が出せるような振り袖を着たいと思って着物を選びました。無事に開催されて、嬉しかったです

法学部 2年
斉藤 由衣 さん
(淑徳巣鴨高等学校出身)

課外講座

資格取得や公務員試験合格などの目標達成を支援するため、
法学部独自に各種の受験対策課外講座を開講しています。

課外講座の特色

- 学生の目標に合わせて多様な講座が開設されています。
- 大手予備校に委託して、受験指導のプロによる授業をキャンパス内で受けられます。また、模試の受験料を補助します。
- 外部の予備校に通うよりもはるかに格安に受講できます。
  例）公務員講座の場合、受講料は外部の予備校の1/6~1/10程度におさえられています。
- 1つの資格を取得すると、次の講座の受講料が半額になり、また奨励金（図書カード）も授与されます。
- 目標を同じくする仲間と互いに刺激し合えます。

課外講座の種類

公務員試験対策課外講座

2年次より始まる公務員入門課外講座と、それを踏まえての3年次の課外本講座が設置されています。4年次には、国家公務員一般職、地方上級職、裁判所事務官、国税専門官、警察官・消防官などの公務員試験合格をめざします。

行政書士課外講座

官公庁と市民をつなぐ法律専門職である、行政書士の資格試験合格をめざします。この試験は、国家公務員一般職や地方上級試験と試験科目が類似しているため、これらの試験勉強の準備という点でも大きな意味を持ちます。

宅建課外講座

宅地建物取引士資格試験（宅建）合格のための講座です。宅建は民法の勉強が中心で、不動産分野はもとより、金融その他多くの企業でも有用な資格です。

民間就活入門講座・就活徹底サポート講座

大学生にとって大きな不安の種であろう就職活動。2・3年生を対象としたこの講座では、エントリーシートの書き方や面接の指導のほか、自信をもって就活に挑むために、受講生一人ひとりが自分の特質を理解し、どの業種・企業にマッチングするのかを見極めるサポートを徹底します。

2021年度法学検定試験（BASIC）合格者数全国第 2位!

実務家による指導（社会保険労務士）

法学部では第一線で活躍する社会保険労務士との共同研究会を開催。学生も参加できます。
この研究会の参加者の中には社会保険労務士試験に合格し、社会保険労務士として活躍している卒業生もいます。

※上記の、法学部主催の課外講座以外に、キャリアサポートセンター主催の課外講座（TOEIC講座、教員採用試験対策講座、簿記講座、秘書検定講座、MOS講座等）もあります。

就職活動

サポート例

キャリアサポートセンター

キャリア教育では、社会人基礎力として求められる実行力、考える力、チーム力、コミュニケーション能力を育成します。本学は、独自教材による「キャリア開発基礎講座」をはじめ、職業観を養う「インターンシップ」、実践的な対策となる「キャリアアワー」など、多彩な就活プログラムを用意しています。さらに、キャリアカウンセラーが学生一人ひとりをサポートします。

キャリア開発基礎講座

自己分析、エントリーシートの書き方、面接対策など就活のためのヒントが盛りだくさんです。

学修の基礎Ⅱ

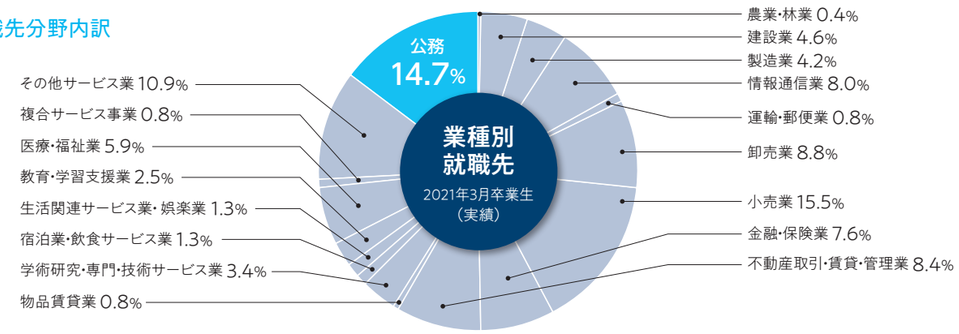
法学部での学びを将来、職場や社会一般でどのように活かしていくかを考えるための授業です。社会で求められる人材像に近づくため、法知識やゼミ、法律関係資格（宅建、ビジ法、社労士、司法書士、行政書士等）の活かし方について、その分野で活躍するゲストを招きつつ、講義します。

業界セミナー

キャリアサポートセンターが主催するものに加え、法学部では独自に、公務員、司法書士、行政書士、社労士、銀行員等として活躍する卒業生を招き、先輩からさまざまなアドバイスを受ける機会を設けています。

卒業後の進路

就職先分野内訳



主な進路・就職実績

官公庁	法務省／東京国税局（国税専門官）／関東信越国税局（国税専門官）／財務省関東財務局（財務専門官）／東京都労働局（労働基準監督官）／神奈川労働局（労働基準監督官）／東京地方検察庁（検察事務官）／さいたま地方検察庁（検察事務官）／神奈川県／千葉県／静岡県／さいたま市／千葉市／横浜市／川崎市／渋谷区／中央区／世田谷区／台東区／品川区／葛飾区／江戸川区／流山市／松戸市／佐倉市／越谷市／新潟市／警視庁／北海道警察／群馬県警察／千葉県警察／埼玉県警察／神奈川県警察／茨城県警察／東京消防庁／さいたま市消防局／千葉市消防局／成田市消防本部／横須賀市消防局
金融・保険	㈱ゆうちょ銀行／㈱千葉興業銀行／㈱栃木銀行／㈱武蔵野銀行／㈱東和銀行／㈱大東銀行／㈱東日本銀行／㈱七十七銀行／大和証券㈱／東海東京フィナンシャルホールディングス㈱／いちよし証券㈱／むさし証券㈱／水戸証券㈱／日本生命保険相互会社／日新火災海上保険㈱／長野県民共済生活協同組合／埼玉縣信用金庫／目黒信用金庫／東京東信用金庫／さわやか信用金庫／朝日信用金庫／東京信用金庫／水戸信用金庫／千葉信用金庫／アイオー信用金庫／群馬県信用組合／㈱オリエントコーポレーション
不動産・住宅	住友不動産販売㈱／三井住友トラスト不動産㈱／三井不動産リアルティ㈱／三井ホーム㈱／野村不動産アーバンネット㈱／積水ハウス㈱／東急リバブル㈱／スターツコーポレーション㈱／積和不動産㈱／日神不動産㈱／㈱大京穴吹不動産／㈱タカラレーベン／㈱一条工務店／㈱オープンハウス／三菱電機住環境システムズ㈱
製造ほか	新日鐵住金㈱／トヨタ自動車㈱／㈱SUBARU／スズキ㈱／鳥居薬品㈱／エースコック㈱／パイオニア㈱／㈱ディー・エイチ・シー／日本製紙㈱／大和冷機工業㈱
流通・商社・サービス	北海道ガス㈱／日本瓦斯㈱／青山商事㈱／㈱三越伊勢丹／㈱松屋／㈱ベイシア／㈱ノジマ／㈱しまむら／菱洋エレクトロ㈱／伊藤忠食品㈱／日通旅行㈱／名鉄観光サービス㈱／㈱東京會舘／㈱JALグランドサービス／日本ヒューレット・パッカード㈱／㈱ぐるなび／エン・ジャパン㈱／㈱ファンコミュニケーションズ／㈱アターブル松屋
運輸・情報通信	東日本旅客鉄道㈱（JR東日本）／北海道旅客鉄道㈱（JR北海道）／四国旅客鉄道㈱（JR四国）／西武鉄道㈱／日本郵便㈱／東日本電信電話㈱（NTT東日本）／福山通運㈱／ヤマトグローバルロジスティクスジャパン㈱
各種法人	さいたま商工会議所／日本司法支援センター（法テラス）／㈻関東学園／㈻昭和大学／㈻国際武道大学／㈻立正大学学園／㈻帝京大学／日本年金機構／（独）労働者健康安全機構／（独）自動車事故対策機構／戸田中央医科グループ／上尾中央医科グループ
進学	慶應義塾大学大学院／東京都立大学東京法科大学院／中央大学法科大学院／立正大学大学院

司法修習生コラム

難関国家試験である司法試験に合格後、現在、司法修習（弁護士・検察官・裁判官といった法曹資格を得るために必要な実務研修）を受けている本学部卒業生の先輩にお話を聞きました!

高校時代から憧れていた司法試験に合格

法学部 2016年3月卒業
小林 千咲紀 さん
（埼玉県立与野高等学校出身）

Q 法学部に入学してどんな感想を持ちましたか?

A 最初は法律独特の言い回しを覚えることが難しかったですが、具体例をあげながら丁寧に説明をしてくださったので、少しずつ理解を深めていくことができました。1年次には法律入門講義や各々の法律の入門講義もあり、毎日の講義が楽しみでした。

Q 印象に残っている授業はありますか?その理由やエピソードともに教えてください。

A 講義は、特に刑法の講義と教職課程が印象的でした。刑法の講義ではニュースを題材に、事件の背景や事件の予防について考え、法律の問題は社会問題と切り離すことができないということを実感しました。教職課程では、子どもの教育機会の不平等や子どもの犯罪について学び、これらの課題解決には、子どもの頃から法律を学ぶことが大切ではないかと思うようになりました。

Q なぜ司法試験を目指したのですか?

A 高校時代に法律について学ぶ機会があり、将来は司法試験を受験したいと考えるようになりました。そのため、立正大学に入学した時から司法試験を念頭に置いて講義を受けていました。また、大学での学びの中で、司法試験の先にある将来像を描くようになりました。教職課程で学んだ知識を活かし、弁護士になったら子どもへの法律教育に関わる問題を扱いたいと思っています。犯罪をしたと疑われている人の権利を法律の力で守ることにも積極的に関わっていきたいです。

Q 高校生にアドバイスをお願いします。

A 大学選びは人生の中でも大きな選択で、不安もあると思います。不安の解消のため、私はオープンキャンパスに行ったり色々な人に相談したりと、行動しました。みなさんもまずは行動をしてみてください。そして大学に入ったら、ぜひ、積極的にさまざまな経験をしてください。

Schedule
[法学部年間スケジュール]

9 September
- 第2期授業開始
- 法学部業界セミナー（9月中旬）
  ＊各方面で活躍する法学部卒業生が来てくれます。
- プログテスト（9月中旬）
  ＊社会人として活動する上で求められる汎用的な能力・態度・志向（ジェネリックスキル）を測るためのテストです。

4 April
- 入学式
- ガイダンス
- 第1期授業開始
- 新入生プレースメントテスト&TOEIC® IPテスト
  ＊新入生の教養（国語、政治経済）・英語力の入学時点での状況を測るためのテストです。

11 November
- 日本語検定試験（11月上旬）
- 法学部・法制研究所シンポジウム（11月上旬）
- ゼミ説明会（11月上旬）
- 法学検定試験（11月下旬ごろ）
- ゼミ研究発表会（11月下旬）

5 May
- 各種課外講座スタート

12 December
- ゼミ募集・選抜

6 June
- ゼミ対抗球技大会（6月末）

1 January
- 第2期授業終了
- 学期末試験（~2月初旬）

7 July
- 第1期授業終了（7月下旬）
- 学期末試験（~8月初旬）

2 February
- 資格取得奨励金授与式
- 春期海外語学研修（希望者のみ）

8 August
- 夏期海外語学研修（希望者のみ）

3 March
- 卒業式

＊行事日程は変更することがあります。